

安心・安全な京都づくりを支える 治水・土砂災害対策の推進について

【担当省庁：国土交通省】

1 治水・土砂災害対策に関する財源の確保

治水・土砂災害対策に関する財源は、必要事業費に対して内示額が大きく下回っている状況が続いており、近年頻発する台風被害等に対応した計画的なハード・ソフト対策が困難な状況である。

社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等の増額確保とともに、事業中箇所^{しんじゅうしんせう}の早期効果発現及び地域経済の改善傾向を維持するため、**平成30年度補正予算の確保**をお願いしたい。

2 府管理河川の治水事業予算の増額確保

府管理河川においては、中小河川や由良川流域で浸水被害が度々発生しており、被害の軽減を図るため、府管理河川の治水対策を強力に推進するための予算措置をしていただきたい。

- ① くり返し浸水被害が発生している高野川（舞鶴市）の河川改修（全体事業費約42億円）を早期に完了するための「**床上浸水対策特別緊急事業**」の新規採択
- ② 府管理河川の古川、弘法川、法川の河道拡幅、護岸整備等の「**床上浸水対策特別緊急事業**」の**確実な予算措置**（平成31年度の予定事業費約12億円）
- ③ 府管理河川の改修を推進するための「**防災・安全交付金**」の**確実な予算措置**（平成31年度の予定事業費約49億円）

- ・平成29年台風で浸水被害が発生した大谷川、相長川、福田川、新庄川、竹野川、小西川等の河道拡幅、河道掘削、護岸整備
- ・京都市と協調して進めている四宮川・安祥寺川等の河道拡幅、河道掘削、護岸整備、水路トンネル
- ・鴨川、桂川等の拡幅、掘削、護岸整備
- ・七谷川、防賀川等の天井川切り下げ及び護岸補強、水路橋耐震対策

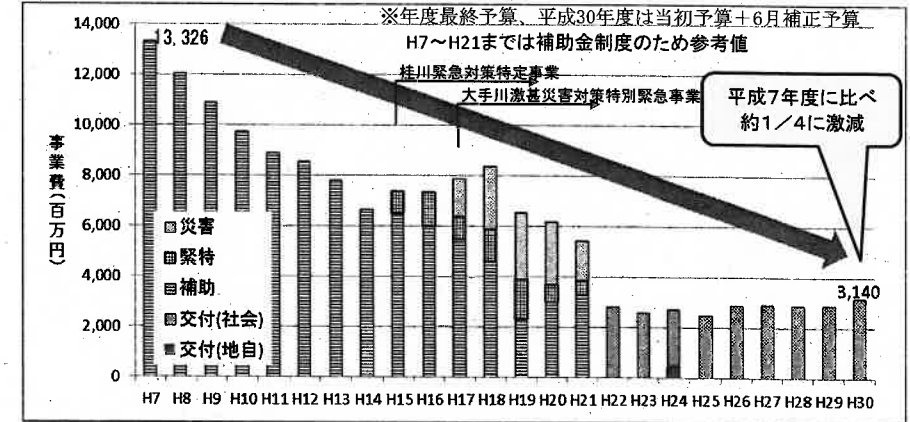
京 都 府 の 担 当 課	環境部 水環境対策課 (075-414-5470) 建設交通部 河川課 (075-414-5282) 砂防課 (075-414-5319)
------------------	--

■防災・安全交付金の内示状況

▶ 内示額が所要額を大きく下回る状況

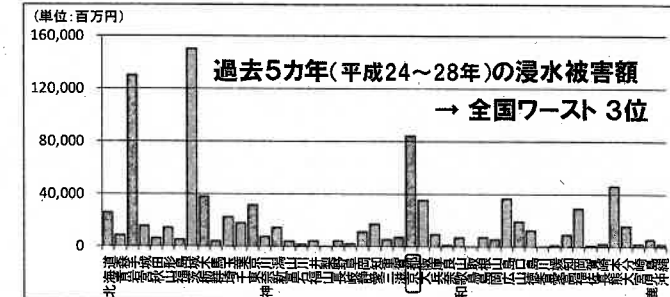
年度	所要額 (百万円)	内示額 (百万円)	内示率	内示との差 (百万円)
27	4,122	2,878	70%	▲ 1,244
28	4,225	2,868	68%	▲ 1,357
29	4,519	2,848	63%	▲ 1,671
30	4,827	3,140	65%	▲ 1,687
31	4,865	—	—	—

■京都府の河川事業費（防災・安全交付金）の推移



■京都府の近年の浸水被害状況

	平成24年 府南部豪雨	平成25年 台風18号	平成26年 8月豪雨	平成29年 台風18号	平成29年 台風21号
被害状況	・床上浸水906棟 ・床下浸水2,378棟	・床上浸水1,482棟 ・床下浸水3,326棟	・床上浸水1,835棟 ・床下浸水2,716棟	・床上浸水 111棟 ・床下浸水 992棟	・床上浸水 368棟 ・床下浸水 631棟
浸水被害が発生した河川	・弥陀次郎川（天井川）、古川、志津川、堂の川他	・直轄由良川、桂川、安祥寺川、四宮川、堂の川、鴨川、桂川、園部川、高野川 他	・弘法川、法川、榎原川、大谷川、八田川	・相長川、竹野川、小西川、福田川、新庄川、滝馬川、筒川 他	・直轄由良川、高野川 他



順位	府県名
1	茨城県
2	岩手県
3	京都府
4	熊本県
5	栃木県

※一般資産被害額（水害統計）より

④ 「中小河川緊急治水対策プロジェクト」は、およそ3年間の時限的措置とされているが、**期間の延伸とともに、重要水防区域以外での適用等、採択基準の拡充**をお願いしたい。

3 大規模事業の補助事業での実施

交付金により実施中の河川事業には、以下のように**複数年にわたり計画的かつ集中的な投資が必要となる事業**があるため、**補助事業の新規制度化**をお願いしたい。

- ・ JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と時期を合わせて行う河川整備事業〔**戦川、新田川、弥陀次郎川改修事業**〕
- ・ UR都市機構が実施している関西文化学術研究都市（木津中央地区）の建設と時期を合わせて行う河川整備事業〔**大井手川改修事業**〕
- ・ 国土交通省が実施している橋梁改築事業と時期を合わせて行う河川整備事業〔**犬飼川改修事業**〕

■中小河川緊急治水対策プロジェクトの採択要件

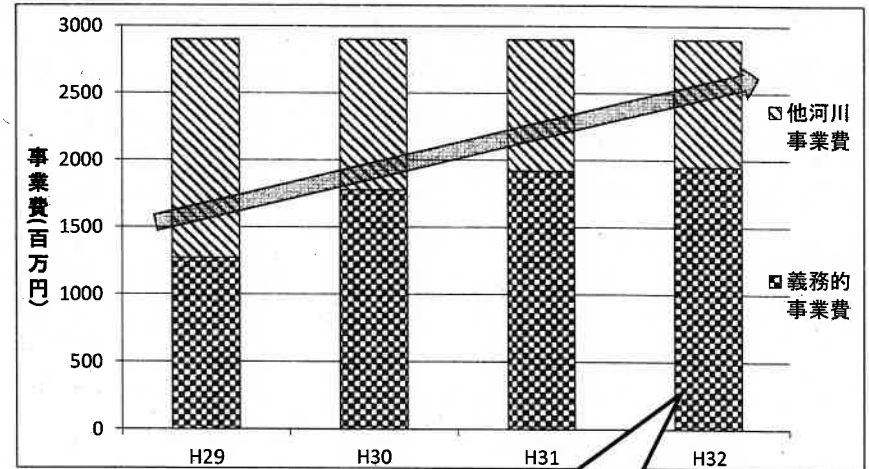
プロジェクト期間	現在の制度	要望
	今後概ね3年間（平成32年度目途）	期間延伸
採択基準	重要水防区域であること	重要水防区域に限定せず、被災履歴があること、もしくは浸水想定範囲内に多数の家屋や重要な施設があること
	近年、洪水により被災した履歴があること	
	浸水想定範囲内に多数の家屋や重要な施設があること	
再度の氾濫防止対策としての、現況河道断面の確保のための堆積土砂撤去		

▶上記の制度拡充により、対象となりうる府管理河川：相長川、四官川、安祥寺川

■補助事業化要望箇所

関連する事業機関	事業名	全体事業費	事業年度
JR奈良線複線化	戦川・新田川・弥陀次郎川改修事業	30億円	平成30年度～平成34年度
UR都市機構	大井手川改修事業	18億円	平成30年度～平成33年度
国土交通省	犬飼川改修事業	17億円	平成28年度～平成32年度

■防災・安全交付金に占める義務的事業費の割合



平成29年度は、4割程度であったが、平成32年度には、防災・安全交付金の7割程度となる。

4 直轄河川の治水対策の推進

直轄河川の外水対策を効果的・効率的に推進しつつ、内水対策やその支援策を強化するなど、あらゆる手段を総合的に組み合わせながら、治水対策を強力に推進していただきたい。

① 淀川水系で最も治水安全度が低い桂川改修(特に嵐山地区)の推進

- ・ 桂川は、淀川三川の中で最も治水安全度が低く、平成25年台風18号では堤防越水により浸水被害が発生するなど未だ改修途上
- ・ 特に嵐山地区は、上流の京都府管理区間も含めた流域全体の治水安全度向上のためにも、緊急治水対策（平成25～31年度）による左岸溢水対策の早期完成に加え、戦後最大洪水（昭和28年台風13号）に対応できる抜本的な改修計画の早期とりまとめ

② 床上浸水が絶えない由良川の更なる改修の推進

- ・ 緊急水防災事業（平成16～27年度）や緊急治水対策（平成25年度～）による堤防整備効果により、平成29年台風21号では福知山地点で平成16年台風23号に匹敵する水位を観測したにもかかわらず、外水による浸水被害が解消（福知山市私市地区、舞鶴市大川地区）
- ・ しかし、福知山市戸田地区など未完成区間では再び床上浸水が発生しており、堤防閉め切りに向け更に事業推進が必要

③ 内水対策及び支援策の強化

- ・ 由良川床上浸水対策特別緊急事業（平成27～31年度）、堂の川（木幡池）大島排水樋門改築（平成30～32年度）の着実な推進
- ・ 直轄河川の堤防整備の進捗と多発する集中豪雨が相まって内水被害が頻発しており、これまでの「外水対策は国、内水対策は自治体」の枠を超えた内水被害低減に向けた支援策の強化
- ・ 緊急対応は排水ポンプ車が有効であり、引き続き外水上昇時の迅速な配備（平成29年台風21号で浸水被害低減実績あり）

■ 桂川・由良川の平成25年台風18号被害概要と緊急治水対策の実施状況（単位：百万円）

河川名	被害概要 浸水家屋	緊急治水対策				
		事業期間	全体事業費	実施済	必要額	備考：H30
桂川	約1,200戸	H25～H31	17,000	15,388	1,612	2,479
由良川	約1,600戸	H25～H31	43,000	35,867	7,133	6,471
合計	約2,800戸	H25～H31	60,000	51,255	8,745	8,950

■ 桂川（直轄：嵐山、府管理：亀岡）の被災状況

▼ 亀岡地区の改修には、嵐山地区の緊急治水対策の早期完成が必要



■ 由良川に係る平成26年8月豪雨被害と床上浸水対策特別緊急事業の実施状況

（単位：百万円）

河川名	被害概要 浸水家屋	床上浸水対策				
		事業期間	全体事業費	実施済	必要額	備考：H30
由良川	約3,300戸	H27～H31	6,200	3,957	2,243	1,536

■ 堂の川に係る平成24年8月豪雨被害と大島排水樋門改築の実施状況

（単位：百万円）

河川名	被害概要 浸水家屋	床上浸水対策				
		事業期間	全体事業費	実施済	必要額	備考：H30
堂の川	約546戸	H30～H32	960	417	543	417

■ 内水被害低減に向けた具体的な支援策

- ▼ 外水が上昇するまでに速やかに内水を排除できる樋門整備
- ▼ 内水対策を目的とした本川と支川合流点付近での調整池整備
- ▼ 排水ポンプ車により円滑に内水を吸水し、排除できる排水ビット整備など

■ 平成29年台風21号時の排水ポンプ車の派遣状況

- ▼ 府所有 由良川：荒河排水機場（福知山市）1台
木津川：上浜樋門（井手町）1台
- ▼ 直轄所有 由良川：荒河排水機場等全5台（福知山市、綾部市）
木津川：木津川合同樋門等全2台（京田辺市、木津川市）

④ 淀川水系及び由良川水系河川整備計画に基づく着実な事業推進

・特に、近く完成が予定されている天ヶ瀬ダム再開発事業（平成33年度）、川上ダム建設事業（平成34年度）の着実な推進と一層のコスト縮減及び工期短縮

⑤ 「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」(堤防の嵩上げ、漏水(浸透)対策等)や「危機管理型ハード対策」(堤防天端の保護、堤防裏法尻の補強)等のより一層の推進

・特に、木津川下流域では、平成29年台風21号による水位上昇に伴い漏水や河岸洗掘などの被害が発生しており、これまでの堤防強化区間を再点検し、漏水矢板の追加などの対策強化や対策区間の追加が必要

⑥ 適切な維持管理の強化

・河道内樹木の伐採、堆積土砂の撤去など治水能力を低下させないよう維持管理の強化

5 土砂災害対策に係る予算の増額確保

府民の生命を守るため、土砂災害対策に係るハード・ソフト一体となった安心・安全対策を推進する「防災・安全交付金」を増額確保していただきたい。（平成31年度の予定事業費約28億円）

● 近年頻発する集中豪雨等により発生した土砂災害に対する再度災害防止対策を実施するための「防災・安全交付金」を重点的・集中的に増額確保いただきたい。

- 平成24年南部豪雨：炭山谷川（宇治市：通常砂防）
- 平成25年台風18号：大波下（舞鶴市：急傾斜）
- 長江（宮津市：地すべり）
- 平成27年台風11号：仕伏町（京都市：急傾斜）他（約8億円）

■天ヶ瀬ダム再開発事業の経過と実施状況

日付	計画	事業期間	全体事業費	増額	実施済	備考:H30
H7.4.17	基本計画策定	H元～H13	約330億円	-	約427億円	約54億円
H23.3.8	第1回計画変更	H元～H27	約430億円	+100億円		
H26.5.20	第2回計画変更	H元～H30	約430億円	なし		
H29.4.14	第3回計画変更	H元～H33	約590億円	+160億円		

■川上ダム建設事業の経過と実施状況

日付	計画	事業期間	全体事業費	増額	実施済	備考:H30
H5.1.26	実施計画策定	S56～H16	約850億円	-	約712億円	約22億円
H11.10.26	第1回計画変更	S56～H27	約850億円	なし		
H23.2.28	第2回計画変更	S56～H27	約1,180億円	+330億円		
H27.3.31	第3回計画変更	S56～H34	約1,180億円	なし		

■「水防災意識社会の再構築」に向けた取組

・関東・東北豪雨を踏まえ、平成27年12月に「水防災意識社会再構築ビジョン」を策定
 ・上記ビジョンでは、ソフト対策とともに、ハード対策として「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」とともに「危機管理型対策」（越水等の際にも決壊時間を引き延ばす粘り強い構造）を導入し、平成32年度を目処に重点的に実施する方針

■木津川下流の堤防強化の実施状況

・整備計画に基づくL=48.2kmのうち、74%完了（H30.3）
 ※平成29年台風21号では、未完了区間だけでなく、完了済区間や新たな区間でも漏水が発生



漏水箇所における地元消防団等による釜段工実施状況

■防災・安全交付金事業（砂防）

（単位：百万円）

年度	所要額	交付額	交付率（%）
29	2,423	2,170	90%
30	2,691	2,208	83%
31	2,839	-	-

※ソフト対策（基礎調査、ハザードマップ作成等）含む事業費ベース

■土砂災害警戒区域の整備状況

要対策の土砂災害警戒区域の内、未対策箇所が約4,700箇所存在
 全ての箇所をハード対策で安全にする場合、約1.5兆円、約500年が必要
 （単位：箇所）

種別	土砂災害警戒区域				
	要対策箇所（※）				
			対策済み	未対策	整備率
土石流	6,840	3,146	362	2,784	11.5%
急傾斜地の崩壊	10,148	2,258	367	1,891	16.3%
地すべり	57	57	21	36	36.8%
計	17,045	5,461	750	4,711	13.7%

※人家5戸以上等

平成30年4月1日現在

- ハード・ソフト一体となった土砂災害対策を推進するため、**避難所等の防災拠点や要配慮者利用施設の保全対策等を推進するための「防災・安全交付金」を重点的・集中的に増額確保**いただきたい。

- ・ 防災拠点保全：^{おおまちらにがわ}大町谷川（南丹市：避難所）
^{きたがわ}北川（京都市：緊急輸送路）
 - ・ 要配慮施設保全：^{はなびりがわ}花尻川（京都市：病院、老人ホーム等）
^{かみきたらにがわ}上北谷川（福知山市：避難所等）
- 他（約20億円）

6 水害・土砂災害のソフト対策に係る予算の増額確保等

「水防災意識社会再構築ビジョン」の取組強化を図るため、ソフト対策について平成29年度から交付金対象として制度拡充していただいたところ。

昨年の台風18号及び21号の被害を踏まえ、府と市町村が連携した更なる取組を推進する必要があることから「**防災・安全交付金**」を増額確保していただきたい。

（平成31年度の予定事業費約3億円）

- 京都府減災対策協議会（H29.5創設）において達成すべき目標に向けて、府、市町村が連携して今後5年間で取り組むソフト対策を実施するための「**防災・安全交付金**」を**重点的・集中的に増額確保**いただきたい。

○主な取組内容

- ・ 水位計、雨量計、河川防災カメラの増設
- ・ 洪水浸水想定区域図作成、ハザードマップ作成
- ・ タイムライン作成による的確な警戒避難体制整備

- 住民避難の判断や効果的な水防活動の実施に向け、災害リスク情報についてよりきめ細かく提供できるよう、**低コストな簡易型の雨量計、河川防災カメラを開発**していただきたい。

■土砂災害警戒区域等の指定状況

京都府の指定状況は全国平均より約26ポイント進捗
平成30年度内の指定完了を目指している。

（単位：箇所）

	土砂災害警戒区域（Yellow区域）			土砂災害特別警戒区域（Red区域）		
	総数※1	指定済	指定率	総数※2	指定済	指定率
京都府	17,045	16,746	98.2%	14,324	14,087	98.3%
全国	666,414	532,358	79.9%	—	335,986	—

※1 京都府の総数は確定値。全国の総数は推計値。平成30年3月31日現在（府）
※2 全国の総数は未集計 平成29年3月31日現在（全国）

■防災・安全交付金事業（ソフト対策）

（単位：百万円）

年度	所要額	交付額	交付率（%）
30	300	176	59%
31	300	—	—

■京都府減災対策協議会（水防法第15条の10）

- ・ 京都府では、淀川圏域、由良川圏域、二級圏域において減災対策協議会を設置
- ・ ハード対策とソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための協議・情報共有を行うことにより、「水害・土砂災害に強い京都府」を目指す。
- ・ ソフト対策の取組（目標達成に向けた3本柱）
 - ① 災害リスク情報の整備及び伝達の取組（浸水想定区域図作成、雨量水位計等リアルタイム情報の適時適確な発信等）
 - ② 効果的な水防活動、円滑な住民避難の取組（タイムライン作成等）
 - ③ 住民の防災意識向上の取組（自主防災組織等の連携強化等）

■水位計、雨量計、河川防災カメラの設置状況

・ 府管理河川377河川について、水位計等の設置状況は十分とはいえない状況

	現状	備考
水位計	89河川	・ 新たに開発された洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計（約1百万円/基））を118箇所導入予定
雨量計	108箇所	・ 府中北部の山間部における流域が小さい中小河川において、局所的な豪雨による洪水、斜面崩壊、土石流に対処するためには、きめこまかな雨量計や河川防災カメラの設置により、詳細かつリアルタイムな情報提供が必要。現在の導入費用約8百万円/基
河川防災カメラ	71箇所	

7 市街地における下水道浸水対策事業の安定的な財源確保

都市に降った雨水の排除は下水道の基本的な役割。京都府では、平成24, 25, 26, 29年と幾度も甚大な都市浸水が発生しており、頻発する都市型水害から府民の生命・財産を守るため、浸水対策を強力に推進するための財源確保が重要な課題。

- いろは呑龍トンネル南幹線が、平成32年度に着実に供用を開始できるよう、必要な防災・安全交付金を引き続き確保願いたい。

(平成31年度予定事業費35億円)

<京都府の予定事業（流域下水道）>

- いろは呑龍トンネル南幹線整備（呑龍ポンプ場 他）
平成25年度～平成35年度
総事業費約200億円、残事業費約94億円

- 近年甚大な都市浸水が発生している、福知山市や舞鶴市などの雨水対策に対して必要な防災・安全交付金及び社会資本総合整備交付金を確保いただきたい。

(平成31年度予定事業費49億円)

<京都府内市町の予定事業（公共下水道）>

- 排水機場整備・・・福知山市、舞鶴市、綾部市
- 貯留施設整備・・・福知山市、宇治市

※ 福知山市浸水被害軽減総合事業は、平成31年度が最終年度

■京都府の浸水対策事業の平成30年度実施予定額（防災・安全交付金、事業費ベース）
(単位：百万円)

	要望額	実施予定額	比率
防災・安全交付金	3,000	3,000	100%

■いろは呑龍トンネル南幹線事業計画

平成32年度供用開始	シールドトンネル 呑龍ポンプ場 公共下水道接続施設	4,260m 10m ³ /s 2箇所 ①, ⑥
平成35年度事業完成	調整池 公共下水道接続施設	1池 ②～⑤

■京都府内市町の浸水対策事業の平成30年度実施予定額
(防災・安全交付金、社会資本整備総合交付金、事業費ベース)

(単位：百万円)

	要望額	実施予定額	比率
防災・安全交付金	3,560	3,354	94%
社会資本整備総合交付金	942	782	83%

■近年の都市浸水被害の状況

(単位：戸)

	24年度		25年度		26年度		29年度		4ヶ年計 合計
	床上	床下	床上	床下	床上	床下	床上	床下	
福知山市			690	279	1,995	2,430	3	40	5,437
舞鶴市			130	191			270	659	1,250
綾部市			16	58	2	17	4	18	115
宇治市	600	1,448	18	29	1	1			2,097
亀岡市	20	98	101	178	1	32			430
城陽市	53	600		20				3	676
向日市			4	102	2	7			115
八幡市	28	280	30	856					1,194
南丹市			103	107		4			214
大山崎町	9	16							25
その他	27	96	30	74			54	679	960
合計	737	2,538	1,122	1,894	2,001	2,491	331	1,399	12,513